

# 福音の園だより

平成18年度「高齢者雇用優良事業所協会会長賞」受賞  
平成27年度「介護職員確保・定着の為に優れた取組」表彰

グループホーム・デイサービス介護保険事業者指定  
350・0016 埼玉県川越市木野目一八七八番地一  
特定非営利活動法人 福音の園・埼玉 事務局  
☎ 049・230・1111 (FAX 230・1112)

## 「家族の声」

### 病前、歌っていた合唱が右脳を刺激して

家内は十六年前に認知症を発症、福音の園に入居して十一年です。入居後二年位で言葉を使い、現在は介護度5、寝たきりですが最高の介護を受け、安心して過ごしています。家内は歌が好きで、病前は地元の合唱団に所属し、クラシックから童謡までを歌っていました。ですから奏でると敏感に反応します。特に「歓喜の歌」の合唱を聴くと、普段は出ない声が叫び声となるほど顕著な反応をします。中野サンプラザで毎年歌っていた合唱が、右脳を刺激するのも知れません。私の言葉に微妙に反応するので、私の話すことをすべて分かっていると感ずります。先日、ある脳学者が、失われた脳の神経を他の神経が代行して働く可能性を発表したテレビを見、研究が進んでいる朗報に、大きな感動を覚えました。



聖書に、  
“「わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ」と言われました。だから、キリストの力が私の内に宿るように、むしろ大いに喜んで

自分の弱さを誇りましょう。”(コリント第二 12:9)  
不治の病とされる認知症に、微かに光が見えてきました。正に福音です。 O・M

## 平成28年度・サービスイテラ外部評価調査員の声

### 緊張しないで過ごせる空気感

先日の訪問調査では、大変お世話になりました。外部評価というシステム上、お返しする評価結果は、どのような取り組みが実践されているのか、どんな工夫がされているのか、といった視点での記入となりますが、今回は、私どもが一日過ごさせていた中で、どのように感じたのかをお伝えしたいと思います。

当日を振り返ってみると施設訪問というよりは、家庭を訪問させていただいたという感じがしています。どこから「家庭」を感じたのかと聞かれると、はつきり答えられないのですが、緊張しないで過ごせる空気感や、意識せず互いを思いやる雰囲気だったように思います。職員さん同士の、お互いを気遣う何気ない会話や、利用者の方々に対する声掛けから、夫婦それぞれの両親を引き取って同居し、そこに兄弟姉妹や子供達が集まってくるというような大家族をイメージします。

杉澤様をはじめ、職員の皆様の優しく、包み隠さずお話し下さる裏表のない姿勢には、私達も調査の為でなく、来客として迎えていただいたかのように錯覚したほどです。たくさんの方々の事業所様を訪問させていただきますが、「たくさんあるからおかわりしてく下さいね」と、昼食のおかわりを勧められたことはありません。この日は、一階は天ぷらうどん、二階は焼き魚でしたが、食事時に各家庭から漂ってくるものと同じ温かさが感じられました。

人と人との関係が希薄になったと言われる近年、街中では、「くさんはこれが好きだったから持って行ってあげよう」と物の差し入れをする関係も少なくなってきました。しかし、まだまだここでは季節の果物やお野菜などの差し入れがあり、このような心のつながりが大切にされているのを感じました。来年開設される福音の園・川越第二様にも、これまでの実績を活かしていただき、地域の皆様にとつて安心できる場となることを期待しております。またの機会に、ぜひお伺いさせていただきたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願ひ致します。 敬具

埼玉県地域密着型サービスイテラ外部評価機関 O・T、S・Y

### 包み隠さず、裏表のない姿勢を大切に

「年に一度」公平中立の立場で行なわれる訪問調査。本号中段は、県内数百ヶ所近くの施設を訪問調査され職業柄パツと入られた際の感想を、「お声」として頂戴いたしました。「包み隠さず、裏表のない姿勢」を、新しい年2017年も継続してまいります。

(ホーム長 杉澤 卓巳)

### 新年おめでとう！

迎えました2017年も、確かな支援技術に基づいた「優しさ」と、福音に基づいた「希望」をお届けできるように専心してまいります。福音の園・川越職員一同

### 来訪歓迎

視察 N P O コ 〇 〇 ブ 理事長 〇 田 〇 久 様 ( 〇 〇 市 )

